情報公開文書
作成日： 2026 年 10 月 7 日

患者様各位
集中治療領域における輪状軟骨開窓術の安全性・有効性の検討に関するお知らせ

研究の背景

気管切開は人工呼吸器管理の長期化した方・長期化が見込まれる方（長期化: 概ね 2 週間以上の期間）や気道の開通性に障害がある方を対象に従来から実施されてきた手術です。気管切開の方法には主に外科的気管切開と穿刺手技を使用した経皮気管切開が存在しますが、その安全性・有効性に関しては既に多数の研究により確認・報告されています。

一方で、短頸・猪頸・喉頭低位等で解剖学的に通常の気管切開を実施することが困難な方においては、近年、従来の気管切開より高位で輪状軟骨前面の一部を除去する輪状軟骨開窓術が、主に耳鼻咽喉科領域で実施されるようになり、その安全性・有効性に関して複数の研究や報告が認められるようになってきています。しかし、集中治療領域において、輪状軟骨開窓術に関して、その安全性・有効性に関して検証した臨床研究は乏しい状況です。

私たちは、本研究で集中治療領域における輪状軟骨開窓術が合併症の発生や臨床転帰において、従来型の気管切開に劣らないものであることの証明を目指しています。

本研究は過去及び今後の通常診療データを用いた観察研究であり、患者様およびご家族様に直接の介入や負担は一切ありません。研究へのご理解・ご協力を賜れますと幸いです。

研究の目的

集中治療領域における輪状軟骨開窓術が、合併症（感染・閉塞など）・臨床転帰（院内死亡率など）において従来型の気管切開に劣らないものであるかの検証

利用する者（被検者）の範囲と研究期間

対象者 : 研究対象施設において気管切開術（従来型・輪状軟骨開窓術）を受けた成人患者様（18 歳以上）
期　間 : 倫理委員会承認後～　2027 年 12 月 31 日

研究に際し行うこと・研究に伴う患者様の負担・不利益

対象患者様の通常診療データを取得し、分析致します。患者様の身体的・金銭的負担は一切ありません。

患者様の人権擁護・研究への拒否

患者様およびそのデータは、個人が判別出来ないよう処理します。またこの研究のために収集したデータは、この研究以外の目的には使用されることはありません。
友愛医療センターの院外ホームページ上に、研究概要の説明及び研究への非同意を示す専用ページを設けております。該当される方は当該ページにアクセスして下さい。

御不明な点は、下記までお尋ねください。
皆様の御協力に感謝致します。

連絡先: 社会医療法人友愛会　友愛医療センター　救急集中治療科　豊﨑光信
電話:（代表）098-850-3811